

分野	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
教育目標 ・ 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の達成のために、地域との共通理解のもと教育活動を行う。 ・教育活動を地域に開いていけるように情報を発信する。
研究	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究による学習意欲向上の成果を、学力の定着につなげるように方向づけ、職員の自己研鑽を推進する。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びと学力の定着を関連させた授業改善に取り組む。 ・指導と評価の一体化を推進し、評価についての説明を生徒、保護者にさらに丁寧に行い、理解を図る。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめ防止基本方針の理解度を高めるために、生徒会主体のイエローリボンキャンペーンを実施する。 ・学校生活を含めた日常生活における基本的な生活習慣の育成を行う。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動において、生徒が主体的に活動できるように、全校評議会や委員会の話し合いをさらに活発化する。 ・委員会活動や学校行事を通し、生徒自らが活躍できるような場面設定を行い、リーダー育成に努める。
道徳 ・ 人権	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で育成した道徳的価値観を学校生活の場面につなげていく。 ・授業だけでなく、学校生活全般で、道徳性を養っていく。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒や学校生活に困難を感じている生徒についての情報の周知し対応の検討を定期的実施する体制づくりを行う。 ・相談先として、カウンセラーや相談窓口など、先生以外の相談方法を生徒、保護者に情報提供を積極的に行い、誰でも相談できる体制をつくる。
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検等で、修繕箇所の確認をし、修繕が必要なものについては迅速に対処する。 ・修繕が必要なものについては、見通しを持って計画的に整備を行う。
保健 ・安全 ・食育	<ul style="list-style-type: none"> ・保健、安全、食育に関する行事を計画的で継続的な活動にする。 ・委員会活動を充実させ、健康や安全に対する意識を高める。
保護者・地域 との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習を地域の方と協働して実施し、生徒と地域のコミュニティーを作る。 ・体育祭などの学校行事に、地域の方を招待する。